

戦争のない未来のために

地域の戦争を語り継ぐ

2024年5月19日(日)午後1時～午後4時

入場無料

スクエア荏原(品川区荏原 4-5-28) 4階展示室・3階大会議室

1945年、私たちの町は焼け野原になりました。それを知っている人は90歳に近い人になりました。父母から、祖父母から聞いた体験を語り継ぐ活動が大切になっています。ご一緒に見て、聞いて、考え、伝えていきましょう。

<3階大会議室>映像・証言から考える

13:30 DVD「知っていますか あの戦争のこと 品川が焼け野原になった—小島義一氏の城南空襲体験画を見て—」鈴木賢士制作(20分)

14:00「祖父の記録から五反田付近の戦争と空襲を語り継ぐ」星野博美さん
聞き手 米屋陽一

『世界は五反田から始まった』(第49回大佛次郎賞受賞作品)で、五反田で町工場を営み生き抜いた祖父が残した手記をひもとき、五反田を中心にした地域の戦争を描いている星野博美さんにお話を聞きます。聞き手は『東京・荏原大空襲』で母から聞いた空襲を書かれた米屋陽一さんです。



小島義一画



ゲンロン提供

<4階展示室>展示を見て考える

・空襲とは? 初空襲は、品川を襲った。その後、1944年秋からは毎日のように空襲があり、品川にも8月13日まで空襲があった。

・焼け野原になった品川 今は、焼け野原が跡形もないが、中延に住んでいた小島義一さんは、1945年5月24日の城南空襲を中心に地域の状況を絵に描き続けた。彼の絵と当時の写真を組み合わせて紹介。

・品川は軍需工場だらけだった 80年前の品川の工場の様子はどんなだったのだろう。工場はほとんど軍関係の仕事をしていた。

・城南空襲の焼け跡・焼け残ったもの 地域にある焼け残ったものをたどりながら「城南空襲・焼跡歩きの会」で戦争が語るもの考えた。

主催:城南空襲を語り継ぐ会 後援:品川区教育委員会
連絡先:西條明子 TEL03-5742-7563 fax03-3775-7883

大会議室の入場は先着順です。定員70名を超えた場合は4階展示室の映像で見て頂くことになります。